
アサモア先生を偲ぶ アフリカについての教え

経営学部教授 田中 則仁

アサモア先生との出会い

1995年秋頃、当時の経営学部長衣笠洋輔先生のご紹介でアサモア先生にお会いした。その前から国際経営研究所の研究員や非常勤講師として湘南ひらつかキャンパスにいらしていたが、専任教員公募人事で就任予定者になられ、学科主任としてお目にかかったのである。横浜市立大学大学院で衣笠先生の指導を受け、日本人と全く遜色ない礼儀作法でいらしたことが印象的であった。

翌1996年から経営学部助教授に就任、学生教育では多くのゼミ生を指導され、学生達からも慕われる存在であった。卒業論文の指導でも早めに取り掛かることを指示し、途中の添削指導も丁寧に対応していらした。学生をよく見ており、勇気づけて指導することもあれば、厳しく叱って奮起させるなど、学生個人にきめ細かく対応していらした。

アフリカについて学んだこと

アサモア先生からは多くのことを学んだが、中でもアフリカの多様性についての教えは今でも貴重な教訓になっている。10年ほど前の出来事であった。その時、日本政府主導で52ヶ国の代表団が一堂に会するアフリカ開発会議が横浜で行なわれていた。

私がアサモア先生と横浜のみなとみらい辺りを一緒に歩いていた時のことである。前方から代表団の随行員らしき方々が5人ほどこちらに向かってきた。

私が思わず、「アサモア先生、ガーナのお友達ではないの」と問かけると、「違うよ、ケニヤ人だよ」と即答された。さらに歩いていると、また次の随行員グループが6人ほど来た。私が「アサモア先生、またケニヤ人が来たよ」というと今度は、「違うよ、マリ人だよ」と指摘された。「アサモア先生、どうして判るの」と尋ねると、「皆、顔が違うでしょ」。さらに加えて「田中さん、アフリカは多様で、それぞれに歴史も文化も民族も違うのですよ」と教えられた。

アフリカという大陸や地域はあるが、アフリカ人などと一括りにしてはいけなにもかわららず、私の浅薄なアフリカ知識では、それぞれの国や民族を識別することは困難であった。改めて、アフリカの広さと奥深さを認識し、自らの不勉強を恥ずかしく思った出来事であった。そしてこのことを通じて、異なる地域、人々、歴史や文化への関心を持ち、理解を深めることの大切さ痛感した。アサモア先生からは、このように具体的に異文化コミュニケーションの基礎、基本を教えて頂いたことが今も心に残っている。

アサモア先生へのお礼

アサモア先生には、クリスチャンであることから埼玉県の上野学園大学での非常勤講師を10数年前からお願いしていた。先方の先生や学生達からも人気が高く、大変慕われていた。とても義理堅く、最後までお勤め頂いたこと、改めて感謝申し上げたい。忙しい激務から解放され、どうぞ安らかにお休み下さい。

合掌